

運動会について

【内容】

小中学校の運動会の組体操について、危険度も高いし、練習もきついと思います。体育の苦手な子供もいる中、ダンスなどに変更してはどうでしょうか。

【回答】

小中学校の運動会における実施種目については、各学校が児童生徒の実態や体育の指導内容等をもとに、子供の思いや保護者の声を聞きながら、主体的に決定しているものであります。

現在、田辺市で運動会のときに組体操に取り組んでいる学校は、小学校 21 校、中学校 4 校、全体で 25 校（約 51%）です。組体操に取り組んでいる学校では、①集団全体の規律正しい整然とした動きによって、一糸乱れぬ集団の美しさを表現する ②友だちと信頼しあい、協力し合う態度を育てること等を目標におき、体育の表現運動の一つとして実施しています。全国的に、子供の体力低下が指摘され、困難なことに集団で力を合わせて最後まであきらめずにがんばるといった体験が不足している現状からいたしますと、組体操に取り組むことは、①体が震えるほどの緊張感を感じる場 ②最高に集中力を高める場 ③仲間との協力・仲間への思いやりを学ぶ場 ④いくつかの体の動きや組み合わせを学ぶ場 ⑤がまんすることで完成する技の達成感を味わう場 として大変教育価値のたかいものであると考えております。

また、毎年、組体操を見ることを楽しみにされている保護者や地域の方も数多くいらっしゃいますし、子供たちも「高学年になったら自分たちがやるんだ！」という熱いまなざしで演技を見ているのが現状です。

教育委員会といたしましては、今後も各学校に対し、実施種目決定にあたっては、児童生徒の実態や体育の指導内容に合わせ、各校の伝統や保護者のご意見にも十分配慮した上で総合的に判断するとともに、実際の指導にあたっては、個々の健康状態に十分配慮するよう指導してまいりたいと考えております。

(担当：学校教育課)